

オプトアウト

【研究課題】 急性期病院における内科疾患入院患者の起居動作自立度と
退院時のトイレ動作自立度の関連性

【研究計画の概要】

○目的

内科疾患患者の「リハビリテーション初回介入時の起居動作の自立度」と「退院時の歩行およびトイレ動作の自立度」の関連性を研究することで、入院初期より退院に向けた予後指標となりうるかを考察する。

○研究期間

2023年12月31日まで

○対象となる方

当院 C3、E3、E4、E5 病棟に入院中の内科疾患で理学療法または作業療法の処方箋が出た方。

除外基準：安静度が床上安静となっている方、重度の麻痺症状がある方、小脳失調がある方、重度の脊髄症状がある方、整形外科疾患術直後の方、疼痛が動作の制限因子となる方、精神疾患のある方、認知症の診断を受け指示理解が困難な方、呼吸循環器系の問題により離床が制限されている方、全身状態不良で起居動作が困難な方、元々の生活が全介助レベルの方

○研究に利用する試料、情報

情報：年齢、性別、身長、体重、Body Mass Index (BMI)、入院日、介入開始日、退院日、入院前の生活場所、入院前の ADL、退院時転帰先、改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)、初回介入時の起居動作能力 (the rising from bed independence score)、退院時の歩行動作能力とトイレ動作能力 (Functional Independence Measure)

○その他

患者様の情報の取り扱いに関しまして、匿名化して扱いますので、お名前など個人が特定される情報が外部に出ることはありません。さらに、研究成果を学会や論文等で発表させていただく場合は個人情報公表することは一切ありません。

【問い合わせ先】

茨城西南医療センター病院 リハビリテーション部 理学療法士 菊地崇
電話：0280-87-8111